

あさひの子

～自分から 自分で～

自ら正しく行う子

大村市立旭が丘小学校 学校だより NO.11

令和8年9月11日 校長 永富 伸介

運動会モードへ

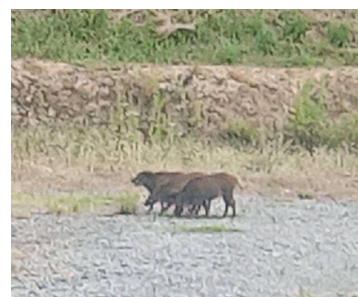
2学期が始まるや否や旭が丘小学校は運動会モードとなりました。先にお知らせしたように、今回の運動会はメモリード・シーハットおおむらを使つての実施となります。屋内での実施となりますので皆さんが従来から抱いておられたような運動会とは違うものとなります。特に「かけっこ」を楽しみにしておられた方も多いという声も届いています。残念ながら「かけっこ」はできませんが、これから積み重ねていく練習の成果



を是非御覧になり、子どもたちへの励ましをいただければ幸いです。9日(水)の1校時は1回目の全校練習でした。久しぶりに全校で集合する貴重な機会となりました。運動場がまた使えなくなるために体育館での練習が中心となります。今週になって少し過ごしやすくなりましたが、まだまだ日中は熱中症計とにらめっこの日々ですが「水分補給」を確実に加えながら練習に取り組んでいきます。保護者の皆様には、運動会の実施に当たっては何かとお願い事が多くなりますが、御協力の程よろしくお願いいたします。

御注意ください

最近、徳泉川内町や赤佐古町付近でイノシシの目撃情報が寄せられています。大村中学校とも連携を取りながら児童への指導、tetoruでの情報提供等の対応をしているところです。山間部だけではなく、池田沖田線(新道とも呼んでいます)沿いでも目撃(右の写真は長崎リハビリテーション学院駐車場で撮影されたものです。)されています。特に夕方から早朝にかけての時間帯に徘徊するようです。これから繁殖期にも入るということで心配しています。御家庭でもくれぐれも御注意ください。



学校保健委員会

9月2日(水)に第1回目の学校保健委員会を開催しました。この学校保健委員会は学校、PTA、そして日頃から定期健康診断等でお世話になっている学校三師(学校医、学校歯科医、学校薬剤師)の先生方とで旭っ子の学校保健に関する内容について話し合う場です。今回は定期健康診断の結果や睡眠と健康の関わり、オーバードーズという言葉に代表される子どもを取り巻く薬物に関わる環境づくりについてお話をいただきました。睡眠と生活習慣や食生活、メディアとは深いつながりがありますが、「カフェイン」のコントロールも大切なのだそうです。最近ではエナジードリンクもありますし、子どもたちのカフェイン飲料の接種の仕方にも目を向ける必要があるようです。オーバードーズの問題は年々増加傾向であり、また、低年齢化しています。各家庭の常備薬の保存状況を大人が確実に把握しておくことが重要なのだそうです。



子どもの心身の健康を保つにはやはり我々大人が環境を整え、コントロールしていくことが大切なのです。御多用の中、参加して下さった保護者の皆様、ありがとうございました。